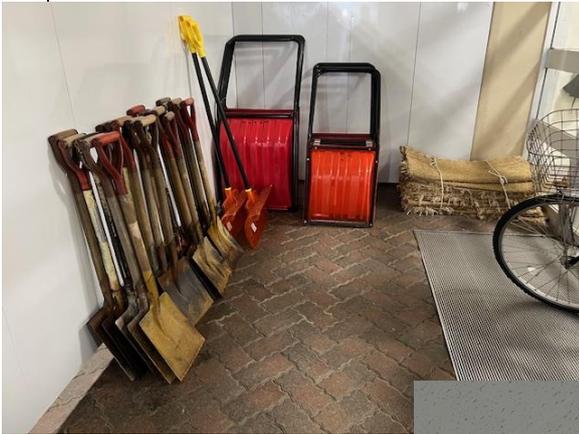


地域学校協働活動推進員の塚本です。

12月22日。

今日で、2学期が終了します。今年は40周年記念行事などで、大変お世話になりありがとうございました。来年も地域の皆様には、子どもたちが安全安心な学校生活を送れるよう、引き続きご支援お願いします。

そして、今日は「大雪警報」「風雪注意報」などが出ています。足元悪く寒い中、保護司会の皆様、「挨拶運動」ありがとうございました。生徒たちの声が、いつもより元気よく大きな声で挨拶してくれているよう感じました。



クリスマス寒波といいますが、もう一日遅くならなかったかなあと、ぼやくのは塚本だけかも、そういえば、昨年も同じことを言っていたような気がします。

生徒の皆さん、地域の皆さん、ドライバーの皆様もいつもより慎重な行動で事故の無いよう気を付けましょうね。

12月26日

冬休みで、校内は

とても静かで、部活でトレーニングしている生徒の音が、響きます。

教室では、蛍光灯をLED照明器具に取替工事が、行われています。

3学期から、今までより明るくさらに学びやすい環境になります。





1月9日  
始業式

能登半島震災の犠牲者への黙祷から始まりました。

学校長のあいさつでは、昨年の12月に校長黒板で、紹介された言葉のお話をし、新年の目標や自分自身を成長させる方法についてお話しいただきました。Will-Can-Mustの3段階で考える。そして、Mustで決めたことをやり続ける。お話を聞いて、大リーガーの大谷翔平が行った、夢を実現するマトリックスを思い出しました。少年野球の時、真ん中に大リーガー、その周りに8つのWill。そして、それを実現するための、8つのCan。そして、その力をつけるための8つのMust。その書き出した64項目を日々ひたすらやり続けた結果が、今の彼。やり方は知っていてもやらなければ、意味がない。そして、新年の念頭に目標を決め、行動を決めるのですが、続かないのが、凡人なのかもしれません。些細なことでも、決めたことをひたすらやり続けることが、夢を実現する人。今年もがんばろう！



理科の先生が中心となって作ってくれたくださった掲示物。

(資料出典先明記あり)

能登半島震災で、改めて地震の怖さ。そして自分たちができる減災についての、掲示が校内数か所で見られましたので、紹介します。

1年で地震の学習をしたことや避難訓練で行っている行動について、詳しく書いてありました。

防災と減災の違い。

- ・災害被害を「ゼロ」に近づける備えが、防災。
  - ・災害被害を最小限に抑える備えが、減災。
- 自分自身ができることを考え行動に移そう。

## 「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

お問い合わせは（火曜日午前・金曜日午後）

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

野々市市押野2丁目100番地

電話：076-248-0039

E-Mail: fusuityu\_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp